

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2019年7月9日

報告書名：平成30年度 日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

平成30年度日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

2019年7月9日

事業名	「西バゴ地域 <small>（西バゴ）</small> の初等教育における読書推進事業」 <small>（第2年次）</small> The Reading Promotion Project at primary schools in West Bago region.
事業対象地	ミャンマー連邦共和国、ヤンゴン地域ヤンゴン市、バゴ地域ピー県およびタヤワディ県
事業期間	事業期間：2019年1月12日～2020年1月11日
公的資金種別	平成30年度 日本NGO連携無償資金協力
総支出・返還金	総支出：30,597,118円（実績：13,764,238円）
プロジェクト 目標および、達成度	「対象地域でSVAの推奨する学校図書活動の意義が認められる」ことを目標とし、事業を実施している。以下の通り、事業全体は計画通りに進んでいる。 <u>（ア）対象学校にて図書コーナーが設置・活用される</u> 対象校10校への図書コーナーの設置が完了した。また各学校に606冊の児童図書を配架した。加えて、対象校の職員へ研修を行い、参加者の理解度が向上した。また対象校の図書コーナーに配置された職員数が、平均各校6人に増加した。 <u>（イ）学校図書コーナーミニマムパッケージが形成される</u> 事業第1年次に作成したミニマムパッケージを第2年次対象校10校へ配架した。また郡教育局職員および学校長がミニマムパッケージの内容を理解した。 <u>（ウ）良質な児童図書が出版される</u> 本指標に関しては下期に活動実施予定である。 <u>（エ）公共図書館による対象学校における移動図書館活動が強化される</u> これまでの事業期間に、公共図書館より各対象校に1回移動図書館活動が行われた。
これまでの 実施内容・状況	<u>（ア）対象学校にて図書コーナーの設置・活用</u> 対象学校の全10校（5郡）の選定を終え、その後各学校と協議を行い、図書コーナー設置スペースを決定した。限られたスペースしかない学校もあるが、地域の協力も得ながら、図書室スペースの確保、改築や修繕を行うなど、地域での本事業への関心の高さと、学校と地域の自助努力が見られている。図書合計：606冊/校（内訳：国内購入306冊、タイからの絵本145冊、日本からの絵本152冊、紙芝居3冊）の配架とその他家具（本棚2式/校、及び机2式/校）や備品全てを配送し、学校側の協力を得ながら図書室の設置を終えた。 教員への図書館研修は二回に分けて実施した。参加者数は、第一回目が26人、第二回目が32人で、合計58人となった <u>（イ）学校図書コーナーミニマムパッケージの形成</u> 活動(1)図書館マニュアルの配布及び(2)説明会を実施した。活動(2)の説明会は、新学期開始前に実施することでより効果的な図書館運営に繋がると考え、当初の計画より早めて、新学期前の3月に2回に分けて実施した。第一回は3月18日に郡教育局

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2019年7月9日

報告書名：平成30年度 日本 NGO 連携無償資金協力 中間報告書

	<p>職員及び公共図書館職員と対象学校長に、第二回は3月19日に対象学校教員向けに行った。合計81人が参加し、学校で図書館を運営する意義、必要な要素（環境、資機材、人材、サービス内容と提供方法、資金）及び運営方法などをガイドラインに沿って説明した。</p>
	<p>(ウ) 教育図書のパルマ語出版</p> <p>活動(1)の出版タイトルの内容に関し、同委員会メンバーから、今年度の出版予定の候補タイトルが複数案挙げられた。その中から3タイトル（絵本2タイトル、紙芝居1タイトル）を選出した。また、情報省出版公社と協議の上、翻訳する教育図書のタイトルを「Guess What I'm doing!」（公財ユネスコ・アジア文化センター出版）に決定した。現在、専門家の助言を頂きながら、出版予定3タイトルの作成を行っている。また翻訳図書に関しては、情報省出版公社内で英語からミャンマー語に翻訳を終え、内容を確認している。</p>
	<p>(エ) 公共図書館による対象学校における移動図書館活動の強化</p> <p>移動図書館活動の実施に関しては、既に1月から移動図書館活動は前年度より継続して行っているが、新学期の6月以降は、本事業で供与した新しい図書を用いて活動が行われる。活動(4)の公共図書館員から対象学校への教員への指導は、移動図書館活動で公共図書館が対象学校に行った際に合わせて行われている。また14館中13館の本事業対象の公共図書館が、自主的に教育局と対象学校の学校長と担当教員向けに活動説明会を実施した。</p> <p>また関係者内で四半期会議が二度実施され、年間行動計画の最終化、活動成果の共有、進捗状況の共有が行われた。</p>
課題と対応策	<p>活動(ア)に関して、モニタリングを今後継続して行いながら、図書コーナー活用の促進を図る。また活動(12)の1年次設置対象学校へのフォローアップ研修の開催も9～10月頃の実施を予定している。</p>